

2017.3.21

三菱UFJの住宅ローン契約

マイナンバーで可能に

三菱東京UFJ銀行は4月から、住宅ローンの新規契約で、署名や実印の代わりに税と社会保障の共通番号（マイナンバー）を使えるようにする。

マイナンバーカードを読み取る装置を使えば、自宅のパソコンで契約を完了、書類提出や対面手続きの手間を省ける。銀行がマイナンバーを金融取引

引に使うのは初めて。新たに始める「住宅ローン契約電子化システム」には、三菱東京UFJ銀のほか、三菱地所レジデンス、東急リアル

凸版印刷が参加する。利用者は、銀行が無償提供するマイナンバーカードの読み取り装置をパソコンにつなぎ、カードを読み込ませる。銀行側

はカードのなかにある電子証明書で、他人のなりすましやデータの改ざんがないことを確認する。

ローンの契約に必要な源泉徴収票や住民税の決定通知書はスマートフォン（スマホ）による撮影画像などで受け付けるため、手続きは自宅で完了する。契約にかかる時間は最短30分程度という。書面での契約に必要な

った印紙税もいらなくな

三菱UFJ銀が提供するカードの読み取り装置は、同行以外のサービスにも使える。ほかの金融機関や企業でも導入を検討する動きが出そう